

令和5年度事業計画書

I はじめに

我が国の総人口（2022年9月15日現在推計）は、前年に比べ82万人減少している一方、65歳以上の高齢者人口は、3627万人と前年に比べ6万人増加し、高齢化率の29.1%と同じく過去最高となりました。

同時期の本市における高齢者人口は、26,921人、高齢化率は29.7%で全国平均を若干上回る状況となっています。

東松山市人口ビジョン（令和2年度改定版）では、平成7年度頃まで一貫した人口増加はそれ以降減少傾向が続き、生産年齢人口、年少人口ともに減少に転じています。一方では、老年人口は一貫して増加し、平成17年には、老年人口が年少人口を上回り、高齢化率の加速度的な上昇が継続し令和27年にピークを迎え、横ばいで推移したのちに減少局面に入ると予測しています。

このような人口の変化は、地域産業における人材の過不足など地域住民の生活に多くの影響を与え、その課題解決へ向けた様々な取組みが望まれます。

また、3年を超える新型コロナウイルス感染症の世界的拡大、さらにロシアによるウクライナ侵攻が日本経済への影響を及ぼすなか、公益社団法人としてのシルバー人材センターの果たすべき使命や役割は、ますます重要なものとなり、地域社会からの期待もますます高まっています。

こうした状況のもと、当センターでは令和元年度を始点とする第2次中長期計画に基づき事業を推進してまいりましたが、令和5年度を以てその計画期間が終了となります。今年度は、設定した目標と達成状況の評価・検証を行い、新たな「第3次中長期計画」へ繋ぎ、引き続き高齢者の就業支援や地域社会の振興・貢献に向けての事業推進に取り組んでまいります。

II 基本目標

東松山市シルバー人材センター「第2次中長期計画」の最終年となることから過去4年間の実績と令和5年度の基本目標を記載します。

	会員数 人	契約金 億円	就業率 %	女性比率 %
令和5年度最終目標	720	5.0	100.0	25.0
令和4年度 R5年2月末 実績	678	3.8	82.4	24.8
令和3年度 実績	703	4.1	91.9	23.6
令和2年度 実績	684	3.9	89.5	23.5
令和元年度 実績	682	4.5	94.3	22.0

III 基本計画の推進に向けた令和5年度の取り組み

会員の確保

高齢者人口が増加する一方で、全国的にも会員の減少傾向が続き、会員増強は全国のシルバー人材センターにとっても喫緊の課題と言えます。

当センターでは、女性会員の比率が低いことから、新規会員の確保と共に女性会員の入会促進を積極的に行うことが必要となります。

◆広報活動の充実◆

- ・東松山市市報による広報活動
- ・各種チラシ作成によるポスティング及び自治会回覧
- ・ホームページリニューアルによる広報の充実
- ・各種イベントへの露出による知名度アップ

◆女性会員の増強◆

- ・女性を対象とした入会説明会の開催
- ・女性会員が魅力を感じるイベントの開催
- ・女性委員会設置の検討

◆入会説明会の充実◆

- ・入会説明会開催の内容充実（web 入会の検討）
- ・会員による一人一会員入会活動の実施

◆高齢会員への支援◆

- ・ゴールド会員制度の充実
- ・高齢会員に向けた自主事業の開発
- ・就業以外の会員の仲間づくりや親睦の場の提供

就業の充実

近年、新規会員や女性会員は、事務・管理系ホワイトカラーを望む会員が多く、その方面への職種の拡充が必要となっています。会員ニーズに応じた新規開拓に臨むことは勿論のこと、一方では、人手不足分野と言われる介護や保育関係、高齢世帯の家事援助サービスなど、地域の課題解決へ向けた就業の開拓も重要となります。

◆未就業会員の就業支援◆

- ・効率的な就業情報の発信（web による情報伝達）
- ・就業相談の充実

◆ワークシェアリング就業の推進◆

- ・一人でも多くの会員が就業できるシステム作り
- ・長期間・長時間就業の改善

◆女性会員、高齢会員に適した職種、就業先の確保◆

- ・介護や保育分野や家事支援などの就業開拓
- ・内職や自主事業の展開による就業の確保

◆研修の実施と充実◆

- ・就業に役立つ研修会・講習会の実施
- ・就業のみならず充実した会員生活に結び付く講座の開設

◆苦情対応の充実◆

- ・お客様の声をサービス向上へと繋げるシステム作り

安全・適正就業の推進

ますます高齢化する会員にとって、安全就業は何よりも優先すべきものとなっています。そして、会員一人ひとりが「安全＝自己管理」の意識を持つことが最も大切ですが、センターが一丸となって事故の防止に取り組むことが重要となります。

◆安全就業の推進強化◆

- ・新会員研修会の内容充実
- ・安全・適正就業委員会での取り組み強化
- ・安全ニュースの内容充実
- ・安全就業に結び付く新たな講習会開催

◆事故の未然防止への取り組み強化◆

- ・安全標語、ヒヤリハット事例を活用した安全対策への取り組み

◆会員の健康づくりをサポート◆

- ・フレイル予防教室の充実
- ・体力測定やからだの衰え度チェックなどのイベント開催

センター活動への参加促進

「自主・自立、共働・共助」を基本理念とするシルバー人材センターにとっては、就業以外のセンター活動への自主的参加は、会員として欠くことのできない役割となります。今後も「生きがい就業・仲間づくり・社会貢献」のための事業を展開することがますます重要となります。

◆地域班活動の充実◆

- ・地区長会議及び班長会議での意識の啓蒙
- ・センター主導のボランティア活動
- ・会員同士のコミュニケーションの活性化となる事業実施

◆基本理念の浸透◆

- ・様々な機会を捉えた啓発

◆センター事業の充実◆

- ・ 会員ニーズを捉えた事業の展開
- ・ 他センターで開催される事業の研究

◆シルバーポイント制度の検討◆

- ・ 三年目となる制度の効果測定と充実

運営基盤の強化及び組織の活性化

刻々と変化する時代にあって持続可能な組織となるためには、柔軟かつ強靱な運営基盤と組織の活性化は必要不可欠となります。

また、デジタル化社会の到来を踏まえ、シルバー事業においてもデジタル技術を活用した事業展開を図っていくことが必要となります。

◆役員・委員等の研修参加促進◆

- ・ 役員・委員の意識や資質向上のための研修会参加促進

◆財政の安定化と公益法人としての経営◆

- ・ 諸経費の削減を図り、効率的な事務運営を目指す
- ・ 予算執行の精度を高め「収支相償」経営に努める
- ・ インボイス制度への適切な対応

◆事務局の強化◆

- ・ 各種研修参加による職員の意識・資質の向上
- ・ デジタル活用支援推進事業（総務省）の活用
- ・ 会員のデジタルリテラシーの向上に向けた事業の展開
- ・ web 上でセンターから会員に就業情報の提供や就業依頼、配分金明細やお知らせを発送するシステムの導入検討